

事務事業名	湘南台地域まちづくり事業費										担当	部課名	市民自治部湘南台市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	10	課等の長	大久保 敬一	電話	6294

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性や個性を生かしながら、各種事業に取り組むもの。						
事業目的及び必要性	湘南台地区地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」の実現に向けた取り組みとして、各種事業を実施し、まちづくりの推進を図るため必要である。						
対象	1. 個人	市民(湘南台地区)			33,163 人		
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱						
藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)							
まちづくりコンセプト				重点施策名			
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input checked="" type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由)地域自治、まちづくりの検討機関である湘南台地区郷土づくり推進会議において検討している地域課題の解決のため、当該会議と市との協働により地域まちづくり事業を実施することで、地域住民が主体的に地域づくりに携わっている。				コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
				指針体系コード			
				2-3-111			
2030年又は事業終了時の望ましい姿				その他の計画との関連			
郷土づくり推進会議で立ち上げた事業を、将来的には地域住民(団体)のみで実施運営できるよう、担い手を育成・支援し、地域が主体となって地域活性化を図ることができるようにする。							
				貢献する主なSDGsのゴール			
				3	すべての人に健康と福祉を		
				11	住み続けられるまちづくりを		
				17	パートナーシップで目標を達成しよう		
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること		2.91 点	2.88 点	2.89 点	2.84 点		
		点	点	点	点		

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	報償費	15 千円	「ようこそ先輩in湘南台」講師謝礼
	需用費	2,636 千円	湘南台駅地下倉庫修繕
	委託料	300 千円	「文化創造事業」湘南台駅地下イベント広場運営等業務委託
	工事請負費	19,338 千円	湘南台駅地下アートスクエア整備工事
31,474 千円	負担金補助及び交付金	9,185 千円	湘南台駅地下アートスクエア壁画作成・設置費用補助金
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報償費	15 千円	「ようこそ先輩in湘南台」講師謝礼
	需用費	2,310 千円	湘南台駅地下アートスクエア消耗品
	委託料	700 千円	「文化創造事業」湘南台駅地下アートスクエア運営等業務委託
	備品購入費	3,421 千円	湘南台駅地下アートスクエア備品
7,297 千円	その他	851 千円	役務費、負担金補助及び交付金

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	3.00人工	3.00人工	2.50人工	2.26人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.16人工	0.16人工	0.24人工	0.41人工
非常勤職員	0.00人工	0.00人工		
合計	3.16人工	3.16人工	2.74人工	2.67人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			0.60人	0.20人
---------------	--	--	-------	-------

### 3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	①ようこそ先輩in湘南台事業:地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で3人の先輩講師との交流事業「第10回ようこそ先輩in湘南台」を開催した。②緑の回遊路事業:良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業として「緑の回遊路ウォーク」の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。③子育てネットワーク事業:地域の多様な子育てニーズに対応するため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、子育てサークル等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。④地域サポーター育成事業:社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを育成する講座「地域サポーター養成講座」を開催した。⑤文化創造事業:湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図るために、「第14回湘南台七夕まつり」及び「花と緑のまち湘南台写真展」を開催した。「マンガ展」については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。⑥湘南台駅地下アートスクエア整備事業:湘南台駅地下広場を、住民参加型の音楽とアートの文化拠点とするため、「湘南台駅地下アートスクエア」として整備した。							
	成果 目標	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
		湘南台子育て応援メッセの来場者数	人	700	700	700	700	
		地域の縁側事業の利用者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	
湘南台七夕まつり来場者数		人	18,000	19,000	19,000	19,000		
参考								
活動 実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考	
	湘南台子育て応援メッセの開催	回	1	1	-	-		
	ちよこっと湘南台の開所日数	日	234	230	119	227		
	湘南台七夕まつり実行委員会の開催	回	3	2	-	2		
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考	
	湘南台子育て応援メッセの来場者数	人	800	800	-	-		
	地域の縁側事業の利用者数	人	1,963	1,704	321	521		
	湘南台七夕まつり来場者数	人	19,000	20,000	-	12,000		
数値で表せない効果								

### 4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
支 出	行政費用(フルコスト) A	31,876	30,634	23,790	54,131	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	30,639	30,608	25,310	54,853	
	事業費(支出済額)	1,174	848	302	31,474	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	29,465	29,760	25,008	23,379	
	①常時勤務職員等の給与等	28,057	28,027	22,655	21,872	
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	1,000	562	
	③退職金相当額	1,408	1,733	1,353	944	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,237	26	-1,520	-722	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	1,237	26	-1,520	-722	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他( )	0	0	0	0	
	収 入	行政収益(事業収入) B	2,178	2,197	2,217	11,082
(3)現金を伴う収入 (千円)		2,178	2,197	2,217	11,082	
①分担金及び負担金 c		0	0	0	0	
②使用料及び手数料 d		0	0	0	0	
③国庫支出金		0	0	0	0	
④県支出金		0	0	0	0	
⑤その他( 広告料収入・文化振興基金繰入金 )		2,178	2,197	2,217	11,082	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用) A-B E	29,698	28,437	21,573	43,049		
分析 指標	項目	湘南台七夕まつり来場者数 F	19,000	20,000	-	12,000
	単位		人	人	人	人
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		1,677.68	1,531.70	-	4,510.90
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		69.17	65.67	49.58	98.07
受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢化が進んでいる。</li> <li>・地区の担い手不足により、地区内でボランティア活動する方が少ない。</li> </ul>
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方向けに気軽に参加できる事業を実施し、地域活動に興味を持ってもらう。</li> </ul>
(3) 令和3年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍する方の高齢化が進んでおり、地区における担い手不足により、地区内でボランティア活動する方が少ない。</li> <li>・湘南台駅地下アートスクエア整備事業についてスムーズに進めていくために、運営委員会や郷土づくり推進会議との情報共有及び連絡調整が必要である。また、当該エリアの管理手法等の検討も必要。</li> </ul>
(4) (3)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層でも地域活動へのきっかけづくりとなるようなイベント(機会)提供をする。</li> <li>・湘南台駅地下アートスクエア整備事業について、定期的に関係団体等や庁内関係課との情報共有、連携強化を図る。</li> </ul>

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外)</li> <li>イ=市の条例等で規定されている事業</li> <li>ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの</li> <li>エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの</li> <li>オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)</li> </ul>	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの</li> <li>イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの</li> <li>ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの</li> <li>エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの</li> <li>オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの</li> </ul>	
	③ 事業期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ア=恒久的に実施するもの</li> <li>イ=年限の定めのないもの</li> <li>ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの</li> <li>エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの</li> <li>オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの</li> </ul>	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ア=300,000千円以上</li> <li>イ=100,000千円以上～300,000千円未満</li> <li>ウ=30,000千円以上～100,000千円未満</li> <li>エ=5,000千円以上～30,000千円未満</li> <li>オ=5,000千円未満</li> </ul>
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ア=80%以上</li> <li>イ=50～80%未満</li> <li>ウ=30～50%未満</li> <li>エ=10～30%未満</li> <li>オ=10%未満</li> </ul>
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ア=10%未満</li> <li>イ=10～30%未満</li> <li>ウ=30～50%未満</li> <li>エ=50～80%未満</li> <li>オ=80%以上</li> </ul>

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
1. 市民等サービス	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	郷土づくり推進会議をはじめとした各種地域団体において担い手となる人材の高齢化が進んでいる現状がある。現役世代においては、共働き世帯の増加などから地域活動への参加が難しい状況が深刻化している。	
	地域と行政が協働し、まちづくりへの取組を進めている事例もある。	
市民ニーズ	把握方法	地域住民向けアンケート 2021年11月25日～12月15日 紙面での回答:186件 インターネット 回答:93件 合計:279件
	把握内容	①暮らしやすさ・住みやすさについて②交通関連について③防災について④市民センター・公民館について⑤市からの情報収集について⑥郷土づくり推進会議について
	対応等	集計結果を広報紙及びホームページで公開するとともに、結果をまとめた冊子を郷土づくり推進会議で配布し、委員と地域住民の声を共有した。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域まちづくりとして今まで行ってきた事業の形骸化・硬直化等をしっかり検証し、新たな方向性に向けた協議を行っていく必要がある。	
	まちづくりテーマ	② 健康で豊かな長寿社会をつくる
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	郷土づくり推進会議において、これまでに実施した地域まちづくり事業を総括・検証し、新たな事業の展開や進め方についてさらに協議を進める。	

9. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	平井 護	確認日	2022/9/2
----	-------	----	------	-----	----------